



印西地区環境整備事業組合

管理者 山崎山洋様

印西クリーンセンター更新計画について
現在地以外の場所で環境に配慮した
施設整備を計画するよう求める要望書

平成22年1月14日

中央駅北地区町内会自治会連絡会

クリーンセンター対策委員会

印西クリーンセンター更新計画について
現在地以外の場所で環境に配慮した施設整備を
計画するよう求める要望書

印西地区環境整備事業組合管理者
山崎山洋様

印西クリーンセンターは、千葉ニュータウン事業により急激な人口増加が見込まれる千葉ニュータウン区域のごみ焼却施設として、千葉ニュータウン中央駅圏入居開始前の昭和 57 年、千葉ニュータウン中央駅そばの現在地に計画、58 年着工され、昭和 61 年 4 月開業以来、23 年間稼働してきました。

計画・建設当時、周辺は広大な造成地で、私ども駅圏住民はまだだれも住んでおらず、クリーンセンターの立地について説明も受けず、意見も述べられない状況でした。

当初、計画人口 34 万人の千葉ニュータウン事業に対応するため、印西市域の千葉ニュータウン地区のごみ処理施設として現在地に計画された印西クリーンセンターですが、千葉ニュータウン事業の計画面積・人口の大幅見直しにより、昭和 61 年の操業当初から、印西市、白井市、印旛村、本埜村、栄町の印西地区 5 市町村全域のごみを引き受け、23 年間にわたり、現在地で焼却しております。

また、当初の計画では印西クリーンセンターの処理量は 200t/日とされ、それを超えた場合は白井清掃工場で焼却施設を増設するとされていましたが、平成 7 年クリーンセンター建設 2 期工事計画の中で計画が変更され、平成 11 年、印西クリーンセンターに 100t の 3 号炉が増設され、現在に至っています。

昭和 59 年、印西クリーンセンターのすぐそばに千葉ニュータウン中央駅が開業。それ以降、千葉ニュータウンの入居、住宅建設が本格化し、周辺には商業・業務施設のほかマンション、戸建て住宅等が密集して建てられ、現在、中央駅周辺では、印西市域だけでも約 3 万人の市民が住んでいます。

中央駅圏では、平成6年の都市計画の変更により、高層建築物が建設されるようになり、現在のクリーンセンターの煙突高 59mを超えるマンションや企業ビルが続々と建設され、煙突からの排ガスが拡散されないまま、周辺のマンション等に当たる状況が出てきました。

平成14年には、これを受けて130mの高煙突化を含む更新計画が策定されました。この計画は平成16年に廃止となっておりますが、この計画の環境影響評価方法書について、千葉県環境影響評価委員会の答申及び知事意見では、計画地が市街地であることを重要視し、

- 1、施設稼働時のばい煙について、ダウンウォッシュ(煙が高層建築物等に当たり、大気中に広く拡散されるはずの汚染物質が煙突周辺、もしくは地表付近に留まり局地的に汚染物質濃度を高めること)の可能性があること、
- 2、施設稼働時のばい煙の拡散予測については、周辺に高層住宅等があることから、これらへの影響を考慮すること、
- 3、悪臭について、周辺に高層住宅等があることから、これらへの影響を考慮すること、

と、130m高煙突化計画においても、周辺の高層住宅への影響を考慮すべきことが指摘されております。

千葉ニュータウン中央駅周辺では、平成15年以降も、戸神台などで高層マンション等が建設され、14年の知事意見当時より、さらにマンション等住宅の密度が増した状況です。

さらに、平成16年の千葉ニュータウン事業計画の見直しでは、当初、商業・業務施設のみとされていた、クリーンセンターに隣接するタウンセンター地区でもマンション等の住宅建設が可能になり、すでに駅前に大型高層マンションが建設され入居が開始されているほか、2010年の成田新高速鉄道の開業に伴い、今後も多くのマンション等が建設見込みであることなど、印西クリーンセンターの周辺状況は、計画当初、建設当初とは大きく異なってきております。

こうした中、印西クリーンセンターが平成30年には稼働32年を迎えることから、今般、焼却施設、粗大ごみ処理施設等、クリーンセンター全体の

更新整備が計画されているとのことです。

2010年、成田新高速鉄道が開業見込みとなり、千葉ニュータウン中央駅に一般特急が停車し、都心、成田への連絡が大きく向上することは、印西市にとって明るいニュースではありますが、市においては、千葉ニュータウン事業に伴う未処分地がまだまだ残されており、今後もまちづくりを進め、若い世代の入居促進を図っていかねばなりません。

全国的に少子高齢化が進む中、新規住宅購入者の減少の中で市への入居増加を図るには、より市民生活への配慮のあるまちづくりが必要となってきます。

印西クリーンセンターの更新整備計画にあたっては、これまでの経緯、また計画当初と現在の状況が大きく変わってきていることをふまえ、市民生活への影響、また今後の印西市のまちづくりへの影響を考慮し、組合構成2市1町2村全体の施設として、現在地以外の、より市民生活に影響のない場所において、環境に十分配慮した次世代型の施設整備を計画していくことを要望します。

平成22年 1月14日

要望者代表

中央駅北地区町内会自治会連絡会

クリーンセンター対策委員

印西市木刈
印西市木刈

他 3,545名
追加 2名